

趣旨・目的

持続可能なインフラマネジメントのあり方をテーマに、まずは道路・橋梁を中心にその方針について議論するもの

- ・限られた予算や人員の中で、激甚化・頻発化する自然災害や加速化するインフラ老朽化への対応が求められるなか、現在の行政サービス水準を将来に渡って維持し続けることが困難となっている。
- ・R7年度に実施したあり方検討会では、「新しいインフラを造るより今あるインフラを活かすことに方針転換すべき」や「インフラの量を縮減し、持続可能な省インフラ型社会への移行を推進すべき」との意見が大勢を占めた。

議論の方向性

- 多数の橋梁をどのように維持管理・更新していくべきなのか。
- インフラの将来像の「自分ごと化」を推進するためには、どうすればよいのか。

開催時期(予定)・議題(案)

4月21日 第1回WG ・富山県におけるインフラの現状と課題について
・WGでの議論の方向性

8月19日 第2回WG ・第1回ワーキンググループの振り返り
・橋の維持管理・更新の方向性
・インフラの「自分ごと化」企画について

(以下、予定)

10月24日 インフラ「自分ごと化」体験教室

R9年1月頃 第3回WG ・第2回WGの深掘り、10月開催のイベントの評価と今後の展開等

4月頃以降 第〇回WG ・検討のとりまとめ

第2回ワーキンググループでの議論

(1) 橋の維持管理・更新の方向性

橋の維持管理や更新の優先順位を考えていく指標として「健全性」と「重要性」を提示。

【委員からの主な意見】

- ・ 緊急輸送道路などの橋は絶対に止められない。大きなインフラと小さなインフラに分けて議論すべき。
- ・ 目標性能を定め、役割に応じた維持管理をするべき。
- ・ 誰でも自分に身近な橋は残したい。橋の優先順位をつけるときには十分に時間をかけた住民への丁寧な説明と納得が必要であり、大きな課題である。

(2) インフラ「自分ごと化」企画

小学生と保護者を対象とした「体験教室」を実施予定。

【委員からの主な意見】

- ・ 子供たちに楽しい任務を与えるなどゲーム性がほしい。
- ・ 子供が楽しむだけでなく、親も巻き込むような企画がほしい。
- ・ 今後も含めて、日頃からいかに広報するかが重要。
- ・ 将来の職業選択を見据え、先進技術等も紹介してはどうか。



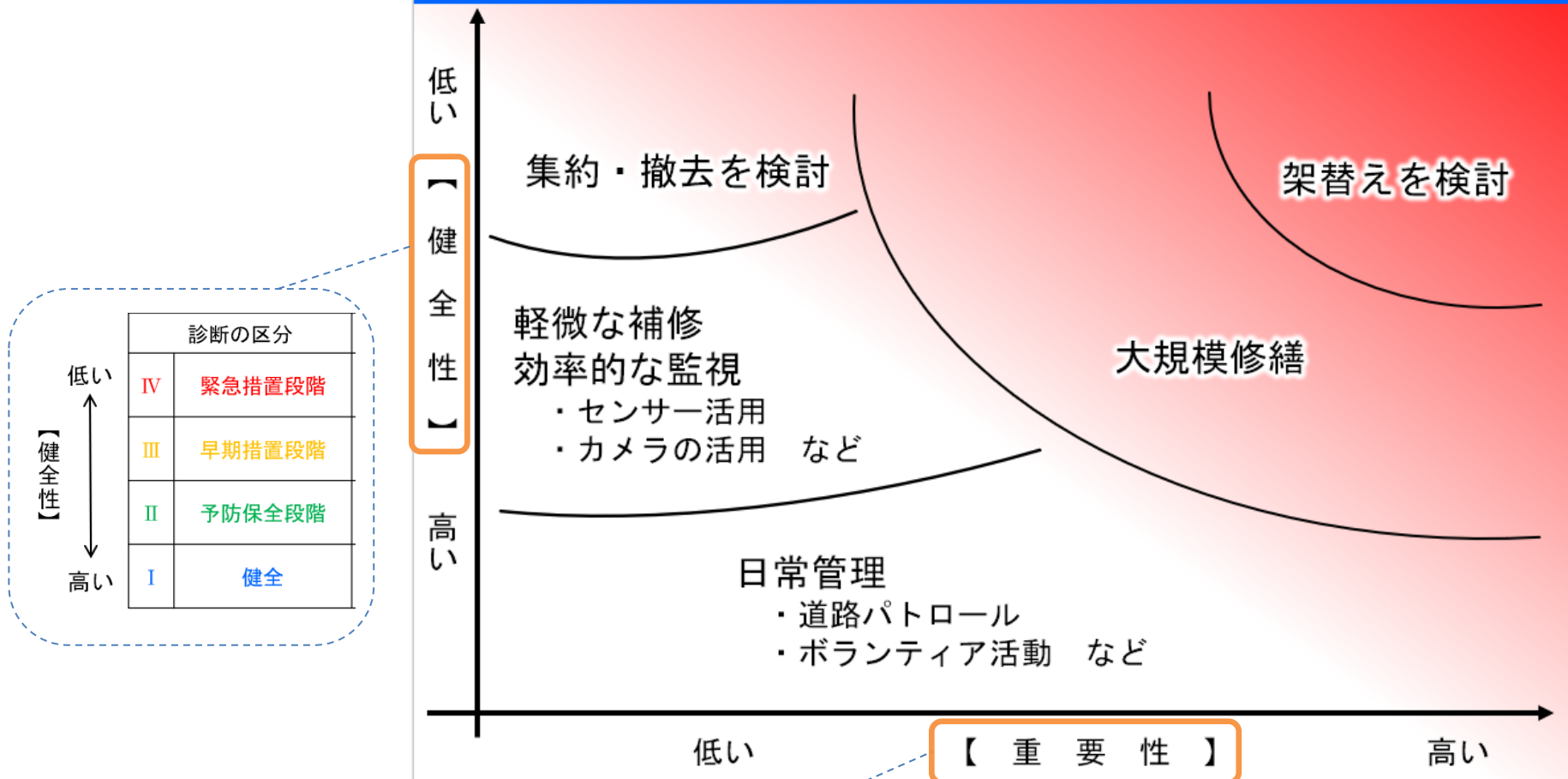
（参考）「健全性」と「重要性」から判断

（点検結果に基づく状態）

（社会経済への影響等）

令和8年8月19日、第2回未来へつなぐ持続可能な
インフラマネジメントのあり方検討WG資料を加工

橋の維持管理・更新の考え方



インフラ「自分ごと化」企画

- 名称 ・ ・ 知って、見て、感じるインフラ「自分ごと化」体験教室
～橋ってすごい！みんなをつなぐ道～
- 目的 ・ ・ 橋の役割（ありがたさ）や維持管理の大切さへの
理解と愛着を深める
- 日時 ・ ・ 令和8年10月24日（土）
- 場所 ・ ・ 環水公園、天門橋、高岡環状線工事現場、大門大橋
- 参加者 ・ ・ 小学生＋保護者
- 実施内容

「橋に関するレクチャー、クイズ」

「橋の便利さ体験」

「水上ラインクルーズ体験」

「インフラをつくり支えるお仕事体験」



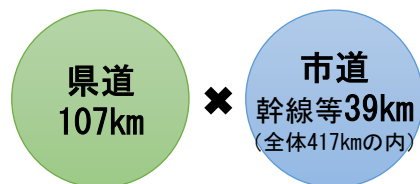
橋上開催イメージ（AI生成）

県内初の群マネの試行

これまでの経緯

R6年度～ 国や市町村とインフラメンテナンス勉強会を開催（3回）

R8年度～ 魚津市と連携実施



- ・道路維持管理業務（パトロール、路面補修）
- ・クラウド型システムを用いた維持管理情報の共有

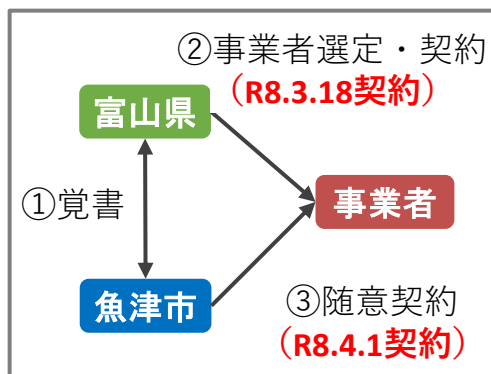
期待する効果

○事業者側の業務効率化

- ・パトロールの効率化
- ・県道、市道の区別なく近隣箇所の修繕を実施

○発注者側の発注手間の軽減

- ・県はパトロールと小規模修繕をまとめて発注
- ・市は覚書に基づき、県が選定した業者と随契



<連携スキーム>

県内初の群マネの試行

パトロールの効率化

連携前 (R8. 3. 27実績)

※市は連携後のコースを走行すると想定

総走行距離：約 1 9 8 k m

(県道：西 7 3 k m、東 6 4 k m)

(市道：6 1 k m)

総作業時間：約 5 0 3 分

(県道：西 2 1 0 分、東 1 7 3 分)

(市道：1 2 0 分)

連携後

(R8. 4～6までの実績平均)
※13回実施

約 1 8 4 k m

(県・市道：西 9 4 k m、東 9 0 k m)

14.1 k m 減少 (累計183 k m 減少)

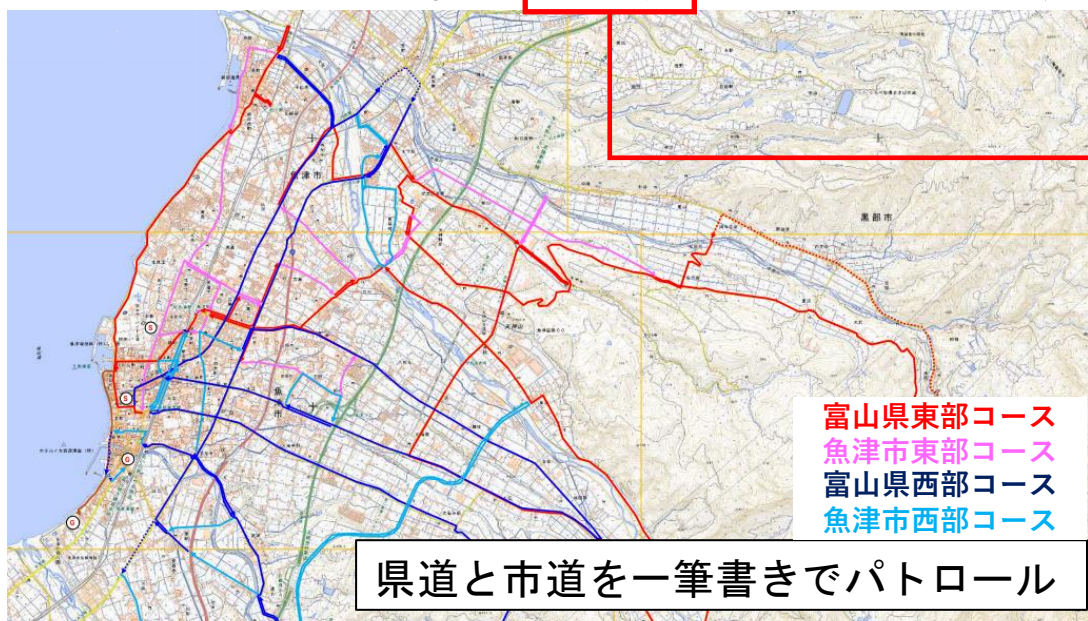
約 4 5 9 分

(県・市道：西 2 4 4 分、東 2 1 5 分)

4 4 分 短縮 (累計570分 短縮)

市は直営で行っていた
パトロールに要する時
間を**別業務に従事**で
きるようになった

路面補修や草刈り除草、街路樹
薬剤散布など (累計1,560分)



県道と市道を一筆書きでパトロール